

この度、第17回日本子ども健康科学会学術集会を2016年3月5日(土)、3月6日(日)に、東京で開催させていただくことになりました。

本学会は、私の恩師である故飯倉洋治先生が、1999年に第1回を開催して本年度で17年目にあたります。これまでも学会名のとおり「子ども」「健康」「科学」をキーワードに、それぞれの大会長が多くの素晴らしいテーマやシンポジウムを開催されてきました。

今回私は、小児精神科医でありかつ教育人間科学部の教員であるという自分の立ち位置を考えて、「増加する子どもをめぐる問題の理解と対応」を大会テーマとして、「発達障害」「子どもの病的依存」「食物アレルギー」のシンポジウムを企画しました。発達障害と子どもの病的依存についてはこれまで取り上げられていないテーマですが、私が常日頃、臨床や研究テーマとして取り組んできたものであります。また、それぞれの第一人者に教育講演をお願いし、充実したテーマになるであろうと自負しています。

#### 主な教育講演

発達障害とエピジェネティクス(仮題): 久保田健夫(山梨大学医学部大学院 教授)

子どもの薬物依存と自傷(仮題):

松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長)

子どもの発達とテレビ視聴(仮題):

菅原ますみ(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻 教授)

一方、食物アレルギーに関してはこれまでも取り上げられてきたテーマですが、数年前に小学校の学校給食の食物アレルギーで、当時本学科所属の学生のごきょうだいが亡くなられたという痛ましい事故を経験し、あらためて、教育関係者にも周知していただきたいと考えてテーマを企画いたしました。

出来るだけ多くの方に参加していただくためには、関連学会会員の方にも学会のご案内をすべきと考え、今回は、「日本小児精神神経学会講師派遣事業」の補助を受けて2名のゲストスピーカーをお招きし、また同一の会費として、当該学会や関連学会の会員の皆さまにも参加をよびかけています。

年度末の土日という会期の設定でお忙しいこととは存じますが、ぜひ日程をご調節いただき、多くの会員の皆さまに参加していただくことが出来れば幸いです。

第17回日本子ども健康科学会 大会長 古荘純一

第 17 回日本子ども健康科学会演題募集要項

宛先： E-mail: [jshsc17@yahoo.co.jp](mailto:jshsc17@yahoo.co.jp)

演題受付締め切り 2016 年 1 月 8 日

1. 演題申し込み方法：上記、第 17 回学会事務局あて、E-mail にて以下の項目をご連絡ください。

メールの件名は「子ども健康演題」としてください。

メール本文に以下を記入してください。

発表者氏名 ふりがな (発表者職種)、共同演者氏名、

発表者所属、共同演者所属

演題名

発表者 住所 電話 E-mail

「演題抄録」を添付ファイルとして さらに 本文にも貼り付けて送信してください。

2. 演題抄録：演題申し込みの E-mail に添付ファイルとして、さらにメール本文に貼りつけて、送ってください。

① ファイルは Word で作成してください。

② 形式は、演題名、発表者氏名 (職種)、連名発表者名、所属、本文としてください。

③ 本文は 800 文字以内とし、目的、方法、結果、考察、結論を記入してください。

④ 受付確認のメールを送らせていただきます。確認メールが届かない場合お手数ですが、メールにて再度ご確認ください。

4. 今回は会場の都合で、すべての一般演題を口演発表とさせていただきます。

発表時間 7 分、討論 3 分を予定しています。

5. プレゼンテーションは Windows 版 パワーポイント 2010 で作成してください。

事前にデータ送付をお願いする場合がありますので、必ず採択メールおよび抄録集を御確認ください。

6. 発表者は連名発表者も含め、本学会会員であることが必要です。非会員の方は、下記の学会事務局までお申し込みください。

(入会申し込み用紙は HP からダウンロードすることができます。)

7. お問い合わせ、入会手続きなど

日本子ども健康科学会事務局

〒352-8501 埼玉県新座市中野 1-9-6

跡見学園女子大学文学部臨床心理学科

松寄くみ子 宛 FAX 048-478-3475 E-mail: [k-matsuza@atomi.ac.jp](mailto:k-matsuza@atomi.ac.jp)

ホームページ： <http://www.jshsc.jp/>